

# Perle 社 ターミナルサーバ IOLAN STS8 と 富士通 PC サーバ PRIMERGY RX2520 M1 の 接続検証結果報告書 (Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64) 版)

株式会社 昌新  
技術部

## 1. 作業実施概要

Perle 社 ターミナルサーバ IOLAN STS8(以降 IOLAN STS8 と略)と、富士通 PC サーバ PRIMERGY RX2520 M1 (Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64))との 接続・動作確認 を実施致しました。

## 2. 被検証装置

品 名	モデル名	記 事
富士通 PC サーバ PRIMERGY RX2520 M1	-	OS : Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64) カーネル版数 : 2.6.32-504.el6 ビット数 : 64 ビット シリアルポート(D-SUB9 ピン) × 1 (オプション付)
Perle 社 ターミナルサーバ	IOLAN STS8	Firm Version 2.6



富士通 PC サーバ PRIMERGY RX2520 M1



Perle IOLAN STS8

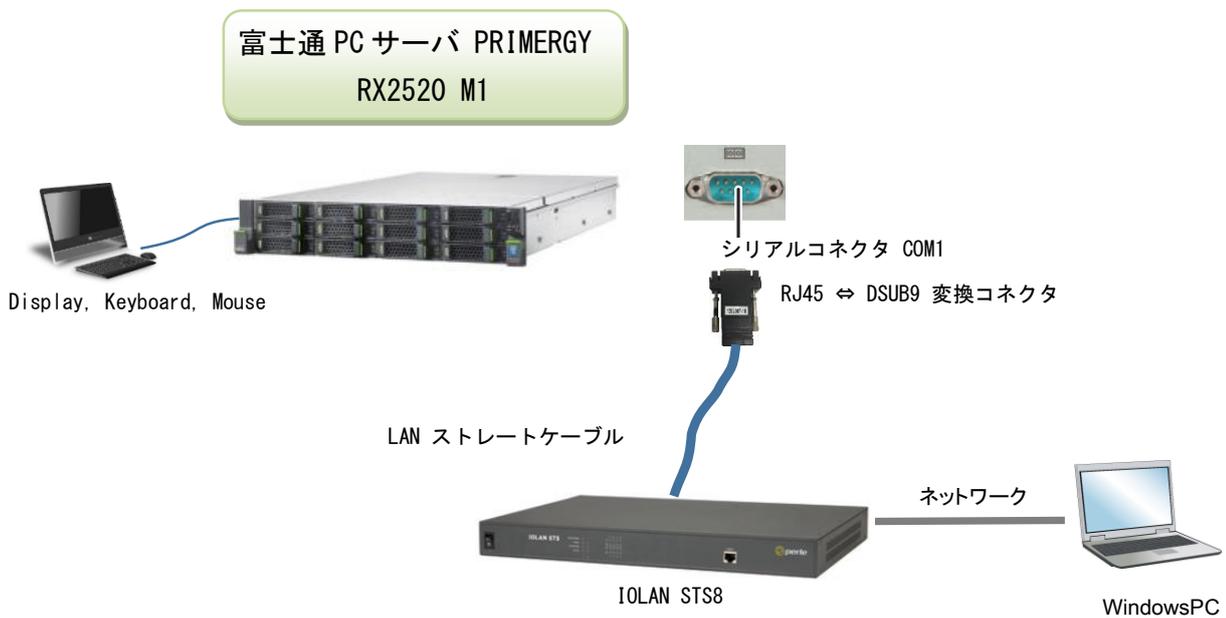
### 3. 作業期間

2016年01月25日～29日

### 4. 作業場所

富士通検証センター(東京・浜松町)

### 5. 実施システム構成(概要)



- (1) PRIMERGY RX2520 M1 (Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64))
- (2) IOLAN STS8
- (3) Windows PC(ノートパソコン)

### 6. 検証項目

- 1) Windows PC から、IOLAN STS8 へアクセスし、所要の設定 (ネットワーク設定, Console Management Profile の設定)が、出来る事。
- 2) PRIMERGY RX2520 M1 で動作する Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64) のコンソール操作を Windows PC の WEB ブラウザから、IOLAN STS8 を経由して、支障無く行える事。

## 7. 接続手順

### 7-1. IOLAN STS8 の設定

#### 1). 準備するツール と 接続

- ・Perle 社製 IOLAN Device Manager V4.6 (以降、IOLAN Device Manager と略)
- ・Windows PC + Web ブラウザ(java 対応)

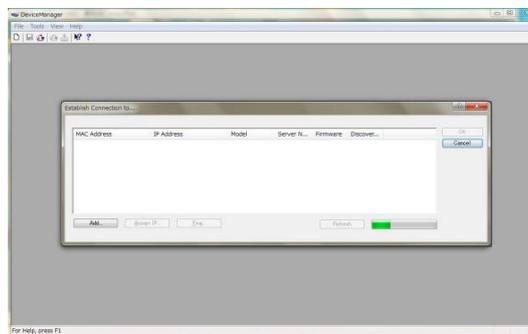


2). IOLAN STS8 と Windows PC とを HUB 経由で、それぞれの電源を ON します。

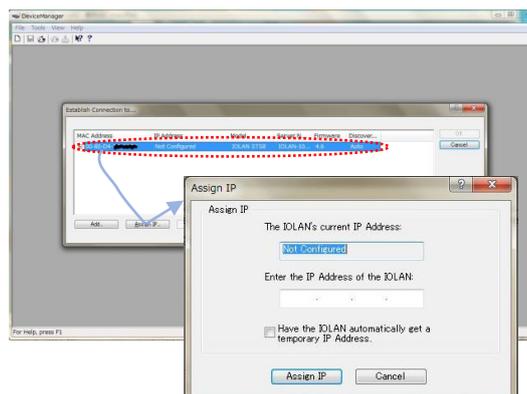
3). Windows PC に IOLAN Device Manager をインストールします。

4). IOLAN STS8 を IOLAN Device Manager で設定します。

- ・IOLAN Device Manager を起動すると、自動的にローカルネットワーク内の Perle 社デバイスの検索が始まります。



- ・接続している IOLAN STS8 と、検索で表示された Mac Address が同じであることを確認後、Mac Address の行をワンクリック、さらにアクティブになった Assign IP ボタンをクリックし、IP アドレスをアサインします。

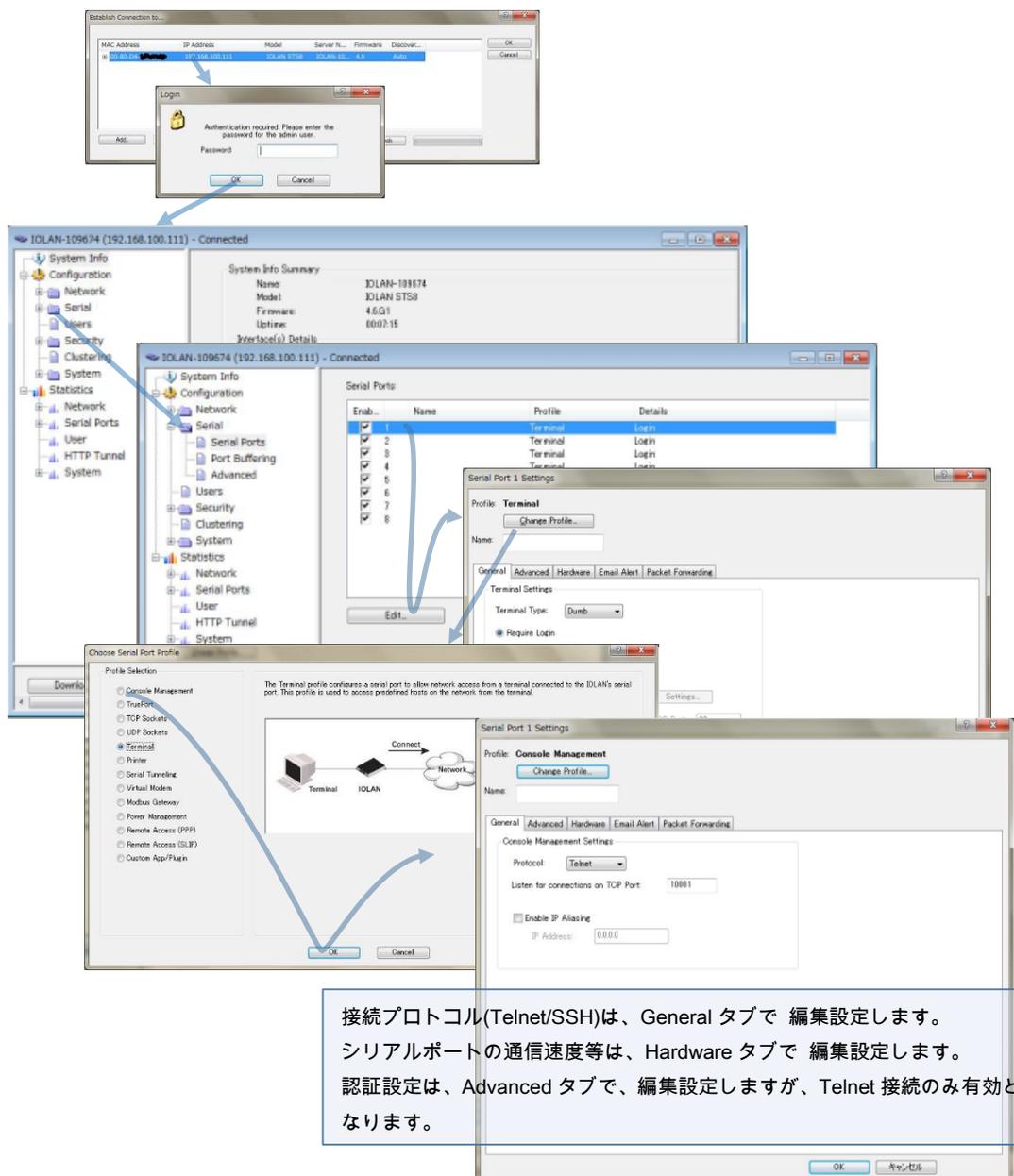


- Assign IP 画面で IP アドレスを設定後、Assign IP ボタンをクリックし、変更を確定させます。



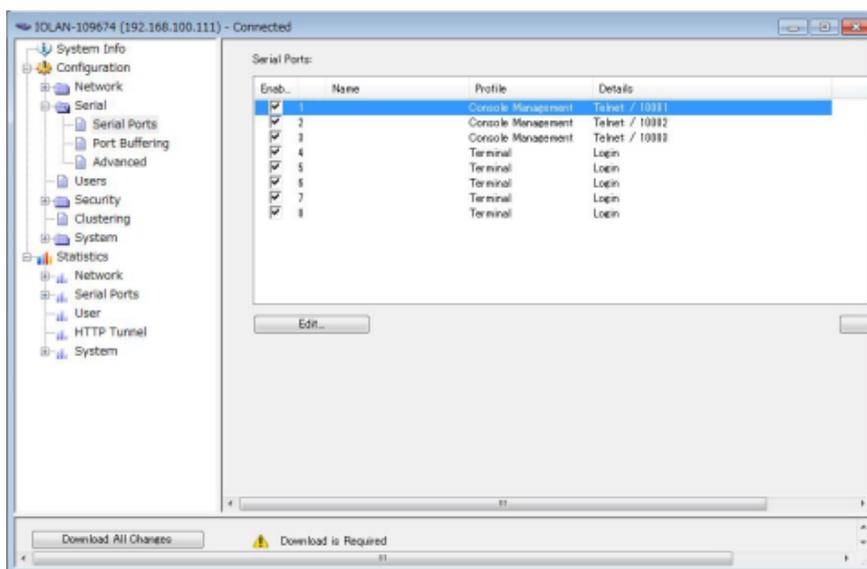
IP アドレスを使っております。

- シリアルポートを Console Management Profile に設定します。  
使用するポートの Profile 設定を Console Management に設定します。  
説明サンプルでは、Port#1,2,3 と、3つのポートを Console Mangement にします。  
Port#1 を設定後、同様に Port#2,3 の設定を行うか、Port#1 の設定を、コピー機能を使って Port#2,3 へコピーします。



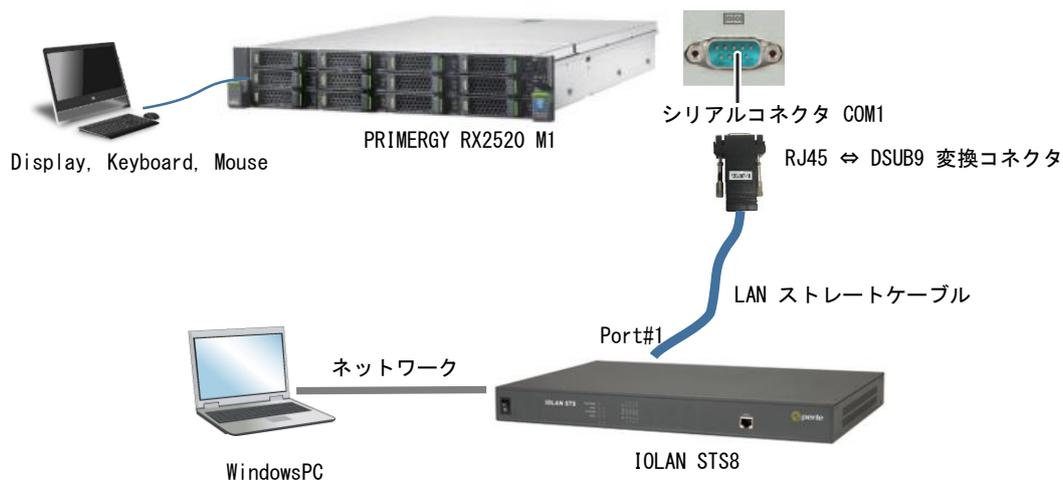
接続プロトコル(Telnet/SSH)は、General タブで 編集設定します。  
シリアルポートの通信速度等は、Hardware タブで 編集設定します。  
認証設定は、Advanced タブで、編集設定しますが、Telnet 接続のみ有効となります。

Port#1,2,3 を ConsoleManagement Profile に設定完了した画面は、次になります。



#### 5). IOLAN STS8 と PRIMERGY RX2520 M1 とのシリアル接続

IOLAN STS8 の Port#1 を使用して、PRIMERGY RX2520 M1 のシリアルポートと接続します。



以上の設定で、IOLAN STS8 に接続しましたシリアルコンソールに、アクセスする事が出来るようになります。

## 7-2. PRIMERGY RX2520 M1 のシリアルポート(オプション)有効設定

PRIMERGY RX2520 M1 背面パネルのシリアルポート(オプション)を有効設定に変更します。

- PRIMERGY RX2520 M1 の電源 OFF である事を確認します。
- キーボード、マウス、Display が接続されているのを確認後、PRIMERGY RX2520 M1 の電源を ON します。
- PRIMERGY TX2560 M1 / RX2520 M1 用 D3239 BIOS セットアップユーティリティ リファレンス マニュアル “2.2 Boot メニューを直ちに開く” に従い、Boot メニューを開きます。



- “Advanced”⇒“Super IO Configuration”⇒“Serial Port 1 Configuration” から、シリアルポート 1 のパラメータを Enable に設定(シリアルポートを有効設定)後、再起動します。

## 7-3. Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64) シリアルコンソール設定

Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64) のシリアルコンソールを使用するところに、設定を追加します。

ttyS0 を シリアル 9600bps, 8ビット, ノンパリティで、コンソールとして使用する設定となります。

```
console=ttyS0 console=ttyS0,9600n8
```

### 1) tty端末設定

RedHat6 から、/etc/inittab ではなく、以下のような tty 端末設定を行います。

/etc/init/serial-ttyS0.conf ファイルを 次の内容で新規作成します。

```
# This service maintains a getty on /dev/ttyS0.

start on stopped rc RUNLEVEL=[2345]
stop on starting runlevel [106]

respawn
```

```
exec /sbin/agetty /dev/ttyS0 9600 vt100-nav
```

設定が完了したらサーバを再起動し設定を反映させます。

2) ブートローダである grub の入出力をシリアルポートで行うように設定します。

/root/grub/grub.conf ファイルを編集しております。

① 起動時のスプラッシュ画面が必要なくなるので splashimage=(hd0,0)..... の行をコメントアウトします。

② serial 行、terminal 行を追加します。

```
serial --unit=0 --speed=9600 --word=8 --parity=no --stop=1
```

```
terminal -timeout=5 serial console
```

③ kernel 文字列の最後に次を追加します。

```
Console=tty0 console=ttyS0,9600
```

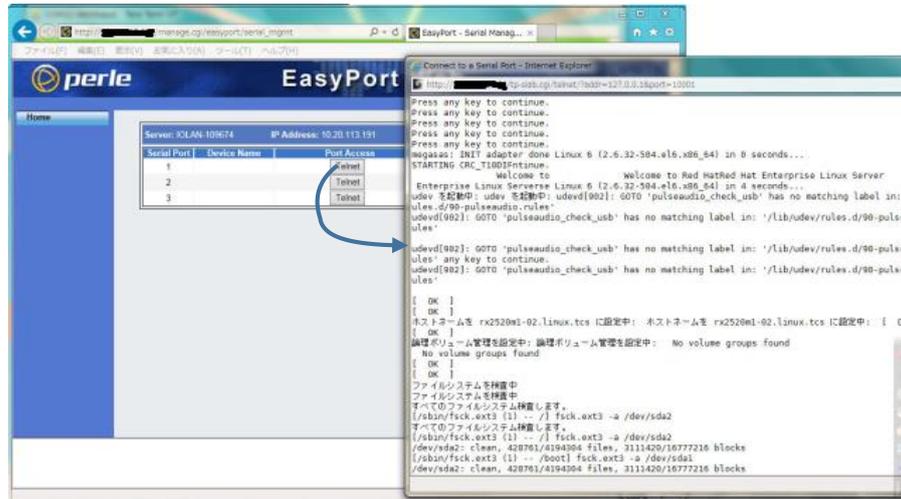
3) セキュリティ

シリアルコンソールでrootでのログインが禁止されておりましたので、/etc/securetty の中に、Root でのログインを許可するように、ttyS0 を追加します。

```
console
vc/1
vc/2
|
|
tty10
tty11
ttyS0
```

## 8. 検証結果

- 1) Windows PC から、IOLAN STS8 へアクセスし、所要の設定（ネットワーク設定、Console Management Profile の設定）が、出来る事を確認しました。
- 2) PRIMERGY RX2520 M1 で動作する Red Hat Enterprise Linux 6.6 (for Intel64) のコンソール操作を Windows PC の WEB ブラウザから、IOLAN STS8 を経由して、支障無く行える事を確認しました。



## 9. 製品紹介

Perle 社 ターミナルサーバ IOLAN STS8 は、簡単でコストパフォーマンスの高いシリアル・イーサネット接続ソリューション提供します。IT、金融機関、産業用 FA 機器、計測、医療、公共システムなど様々な分野のシリアル I/F 機器のネットワーク化にご利用頂けます。管理者は、Java ブラウザを使用して、Telnet または SSH で遠隔地のシリアルコンソールポートにアクセスすることや、ターミナルサーバ IOLAN STS8 に接続された全てのネットワーク機器やサーバのシリアルコンソール管理が可能です。

### ※ ご注意

ご不明点等があれば、下記連絡先まで、お問い合わせ下さい。

### お問合せ先

株式会社昌新  
情報システム営業部(担当:岩瀬)  
TEL:03-3270-5926  
E-mail: [IS@shoshin.co.jp](mailto:IS@shoshin.co.jp)

以上